

平成30年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	阪南 市議会
報告者	議長 上甲 誠 副議長 二神 勝 事務局長 井上 稔
視察日時	平成30年7月18日(水) 14:00~15:30 / 15:30~16:15
視察先	鹿児島県 霧島市
概 要	<p>議会改革の取組（無線LAN整備・住民参加等）について</p> <p>議会改革の取組としてAVシステムの改修、タブレットでの採決、書画カメラを活用した情報の共有化と視覚的に訴える議員の質問のあり方の変化、無線LAN整備による議場及び委員会室でのクラウドデータの共有について学ぶとともに、開かれた議会の仕組みづくりとして、議会のケーブルテレビによる放映や凡そ常任委員会単位を1クルーとする地域における議会報告会の成果やその反省、改善点、また情報発信としての「議会だより」の編集の内容や、その基盤となる本市では設置していない「広報公聴常任委員会」の権限、運営等についてレクチャーを受けた。</p>
	<p>議場見学（タブレット採決等のデモンストレーション）</p> <p>説明に引き続き、実際に議場において、議案審議等の際、どのようにタブレットによって資料を検索、閲覧するのか、関係する資料の閲覧の方法や議員持ち込みの資料についての取扱いなど、タブレットを活用して、その利便性の確認と課題等についてレクチャーを受けた。また、タブレットと同時に導入した新たな議場のAVシステムにより傍聴者にも議員持ち込み資料については壁の大型ビジョンに映し出され、それを見ながら傍聴できることから利便性が向上したことについての説明を受けた。</p>
所 見	<p>議会改革の取組（無線LAN整備・住民参加等）について</p> <p>霧島市では議会改革の一環としてタブレットが導入されたが、本市で導入する場合には、既にAVシステムは改修済みであり、費用対効果が厳しく精査されることから、霧島市では未実施であった議員への資料の配布をLAN環境の整備により実施し人件費、需用費の削減が必要不可欠であると考えた。</p> <p>また、議会としての市政報告として「議会報告会」を実施されているが、単に報告会を開催するのではなく、市内の団体との意見交換という要素を加えることで、議論の活性化など報告会の内容の充実が図れたという成果は非常に参考になる事例であった。</p>
	<p>議場見学（タブレット採決等のデモンストレーション）</p> <p>タブレット導入により議案だけではなく例規集等資料についてもペーパーレス化されていることから、タブレットひとつで関連した調査が可能になることに加え、アプリの機能で議案や資料を全議員の端末に同じ情報を表示させることが可能であり、加えて議員の持ち込み資料についても予めデータ化することにより端末に表示させることが可能なことから、質疑や説明の理解度が高まることが期待できることが確認できた。また、傍聴者の利便性向上につながることも確認でき、開かれた議会運営に資されており、本市の将来的なシステム導入の参考になった。</p>

平成30年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	阪南	市議会
報告者	議長 上甲 誠	副議長 二神 勝 事務局長 井上 稔
視察日時	平成30年7月19日（木） 10：30～12：00 / 13：30～14：30	
視察先	宮崎県 都城市	
概 要	<p>ふるさと納税の取組について</p> <p>平成27、28年度ふるさと納税ランキング全国一となった取組の基盤には、全国一の出荷量を有する「肉」と特産品である焼酎に返礼品を絞り込むとともに、事業者が責任をもって供給量と品質を維持する仕組みづくりや、計画的に返礼品の需給量を管理する公民の取組み、また、ふるさと納税を市と協働し増やすだけではなく、自ら産業の活性化について取り組む民間事業者による「都城市ふるさと納税振興協議会」の活動などに支えられていることについて、その経過や現在の取組状況についてレクチャーを受けた。</p>	
	<p>施設見学（中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」）</p> <p>中心市街地にある民間の商業施設を公共によりリノベーションを行い、図書館や子育て世代活動支援施設などの複合施設として市民の賑わいの場、市民の交流空間として再生された。短期間で施設を再生するために、地方都市リノベーション事業から国土交通省の都市再構築事業の活用に移行し整備。図書館等の運営については指定管理者制度を活用しているが、選定に際して「市民の生きがいひろがるような」視点を重視したことから地場産業とのコラボや地域密着や次世代育成など非常に特長ある運営をされていることについてのレクチャーを受けた。</p>	
所 見	<p>ふるさと納税の取組について</p> <p>返礼品を特産品である「酒」と「肉」に重点化し、民間事業者やシティプロモーションと相互に連携した新たな情報発信や大都市圏域におけるプロモーション活動などで事業効果を得た事例は方策として今後の本市の事業運営にも活かせる情報であった。</p> <p>本市の産業の現状を踏まえると都城市のような圧倒的な物量の供給は困難であり、この政策をそのまま取組むことは不可能であるが、定住施策や交流人口の増加より、まずは「ふるさと納税」を優先し産業を活性化させるところから取り組まれた点は集中と選択という観点からも大いに参考となった。</p>	
	<p>施設見学（中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」）</p> <p>民間の空き施設をリノベーションを行うことにより賑わいの場や市民交流の空間に再生することは、財政基盤が脆弱であり新たに施設整備を行うことが難しい本市にとっては非常に参考となった。また、図書館等の複合施設においては、運営についても地域や市民を中心に捉えた指定管理者制度を導入されており、単にコストダウンするだけではなく、地域の雇用拡大や市民の事業への参画や市民活動を行うための空間の提供など新たなコンセプトが取り入れられており、人口減少や高齢化等が課題となる本市の今後のまちづくりにおいても大いに参考となる事例であった。</p>	